

## 再評価結果（平成18年度「事業継続」箇所）

担当課：本省都市地域整備局街路課

担当課長名：松谷 春敏

事業名：南海本線・高師浜線（高石市）連続立体交差事業	事業区分：街路事業	事業主体：大阪府	
起終点：自：大阪府高石市東羽衣一丁目 至：大阪府高石市綾園七丁目		延長：4.1 km	
<b>事業概要</b> 本路線は、大阪市と和歌山市・関西国際空港を結ぶ幹線鉄道であり、とりわけ、本事業区間のラッシュ時における踏切遮断は長時間にわたり、踏切部で発生する交通渋滞は著しい。そこで、踏切を除却し、沿線の交通渋滞を緩和するとともに、鉄道による市街地分断を解消するものである。			
H9年度事業化	H8年度都市計画決定	H9年度用地着手	H16年度工事着手
全体事業費	約550億円	事業進捗率	27% 供用済延長 km
踏切交通遮断量	209,931台/日		
費用便益分析結果	B/C (事業全体) 1.6 (残事業)	総費用 (残事業)/ (事業全体) /385億円 (事業費) /385億円 (維持管理費) / 億円	総便益 (残事業)/ (事業全体) /642億円 (走行時間短縮便益) /630億円 (走行費用減少便益) /10億円 (交通事故減少便益) /2億円
基準年：平成17年			
<b>事業の効果等</b> ・円滑なモビリティの確保（鉄道交差道路又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上の上の踏切道の除去もしくは交通改善が期待される） ・都市の再生（市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり） ・個性ある地域の形成（鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する）等			
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> ・地域住民より、事業の早期完成に対する要望を受けている。			
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> ・平成14年度に高石駅東B地区市街地再開発事業が完了している。			
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> ・再評価時点において、進捗状況は用地84%、工事14%となっている。			
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> ・平成21年度の供用に向けて事業推進に努める。			
<b>施設の構造や工法の変更等</b>			
<b>対応方針</b>		事業継続	
<b>対応方針決定の理由</b> ・事業の必要性が認められ、かつ事業進捗上も特段の支障がないと考えられるため。			
<b>事業概要図</b>			
次ページ			

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

事業概要図

南海本線・高師浜線（高石市）連続立体交差事業

事業延長 L=4.1km

南海本線 L=3.1km

高師浜線 L=1.0km

